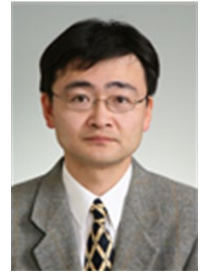


研究タイトル: ①宮城県を中心とした方言の調査研究  
②ことばに興味関心をもち、適切に使いこなすための啓蒙活動



氏名: 武田 拓 / TAKEDA Taku E-mail: takeda@sendai-nct.ac.jp

職名: 教授 学位: 修士(文学)

所属学会・協会: 日本語学会, 日本文芸研究会(東北大学)

研究分野: 日本語学, 方言学, 社会言語学

キーワード: 方言, 日本語, 国語教育

技術相談

提供可能技術:

- ・宮城県内外の方言の調査および情報提供
- ・ことばに興味関心をもち、適切に使えるようになる授業
- ・外国人に対する日本語・日本文化の紹介(日本語あるいは簡単な英語で)

研究内容:

①宮城県を中心とした方言の実態調査と記述

- ・宮城県を中心とした東北地方の方言について、他の研究者とも連携しながら、記録や伝承のための活動を実施している。マスコミからの質問や出演依頼に応じたり、各種辞書・学術書の関連部分の執筆を担当したりしている。
- ・最近では医療現場における「言語摩擦」の問題について、国内外の研究者と調査研究を進めている。

②ことばに興味関心をもち、適切に使いこなすための教材・学習方法の検討

- ・普段なにげなく使っていることばを客観的に認識、意識して使うような学習のあり方を考察している。
- ・口頭・文書の両面において、相手と必要十分な意思疎通ができるような学習活動のあり方を考察している。
- ・最近では、日本人の学生生徒だけでなく、海外からの留学生に対しても日本語や日本文化の授業を実践している。外国人学生に対し、伝統的な日本文化だけでなく、ごく日常の日本文化を体験してもらうことを目標としている。

【これまでの成果・実践例】

- ・2000年 仙台市愛子児童館主催 わくわく授業「ことばのふしぎ」担当
- ・2002年 (株)ジャストシステム社製日本語変換ソフト「ATOK」東北・北海道方言入力モード制作協力
- ・2005年「増田町(現秋田県湯沢市)旧西成瀬小学校における言語教育の再評価のための調査研究」委員
- ・2010-2013年 河北新報朝刊連載「とうほく方言の泉」執筆担当
- ・2013-2018年 岩沼市史編集委員会 (民俗部会)委員
- ・2014年 東松島市文化協会第1回研修会講演「方言の過去・現在・未来」

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	